

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第14号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成24年1月24日 18時32分ごろ	
発生場所	沖縄県宮古島市平良港 平良港北防波堤灯台から真方位148°850m付近 (概位 北緯24°48.4′ 東経125°16.5′)	
事故等調査の経過	平成24年3月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客フェリー スーパーライナーはやて、145トン	
船舶番号、船舶所有者等	140251、合資会社はやて海運	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、乗客59人、車両3台を乗せ、平良港を出航中、船長が、棧橋から離れるために両舷機のクラッチを後進に入れ、続いて前進して左回頭を行うために右舷機のクラッチを前進に入れたが、前進に入らず、スクリュープペラは後進回転を続けた。</p> <p>船長は、左回頭を諦め、舵を右に切って左舷機のクラッチを前進にし、右回頭を試みたが、後進行きあしが残っており、左舷船尾が岸壁に衝突した。</p> <p>船長は、そのまま右回頭を行って本船を岸壁から離し、その間に右舷機のクラッチが正常に戻ったことを確認できたので、船体の安全を確認して宮古島市佐良浜漁港へ航行した。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 5 海象：潮汐 上げ潮の末期	
その他の事項	船長は、佐良浜漁港に入航前、クラッチのテストを行ったが、問題はなく正常に作動した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、平良港を出航中、船長が後進中に右舷機のクラッチを前進に入れたが、クラッチが誤作動を起こしたことから、後進行きあしを止めることができずに左舷船尾が岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、平良港を出航中、船長が後進中に右舷機のクラッチを前進に入れたが、クラッチが誤作動を起こしたため、後進行きあしを止めることができずに左舷船尾が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。	